## ノーツコンソーシアム FESTA 2016

# Connect 2016 最新情報 フィードバック

基調講演 & Notes/Domino 関連

#### 2016年2月26日(金)

日本アイ・ビー・エム株式会社 IBM ソーシャル事業部 ブランド戦略担当 赤松 宏佳

日本アイ・ビー・エム システムズ・エンジニアリング株式会社 オープン・ミドルウェア シニアITスペシャリスト 村上 雄介



Connect 2016 最新情報 フィードバック

# 基調講演関連





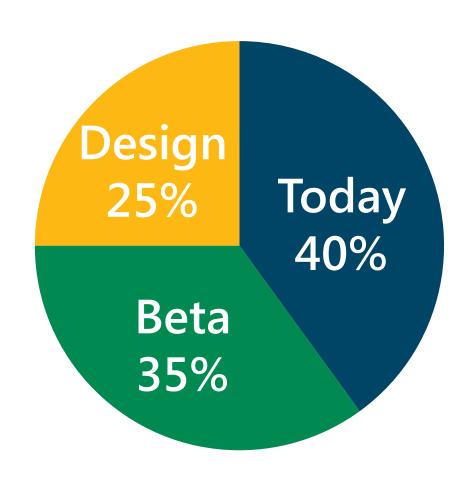
## はじめに

本資料では IBM Connect 2016 の基調講演で行われた IBM の "New Way To Work" ビジョンをご紹介するデモの内容を中心にご紹介しております

- Opening General Session Part II:
   The Engaged Enterprise Comes to Life (1674A)
  - 基調講演 Part I および Part II は以下の Web サイト でご覧いただけます
  - → Connect on IBMGO <a href="https://ibmgo.com/connect/">https://ibmgo.com/connect/</a>

開発中、検討中の内容を含んでおり、掲載しております画面、機能等は今後変更される可能性がございます

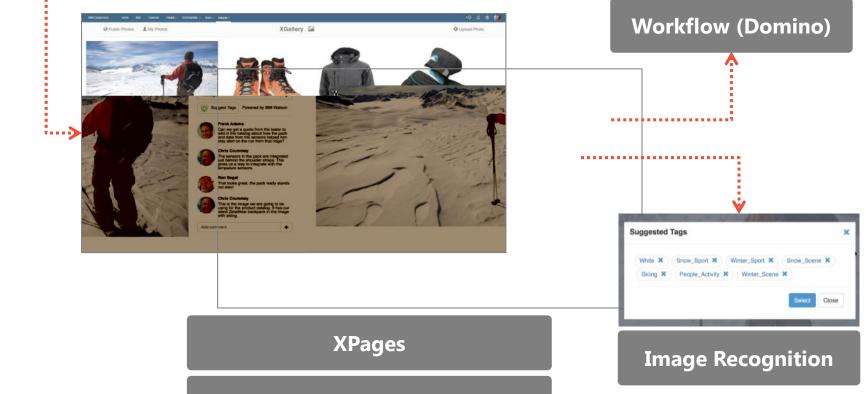
■ おおよそ 12~18ヶ月 将来に実現を目指す機能を含めた「ビジョン」としてご覧ください



# Quick Custom Application Development – XPages on Bluemix

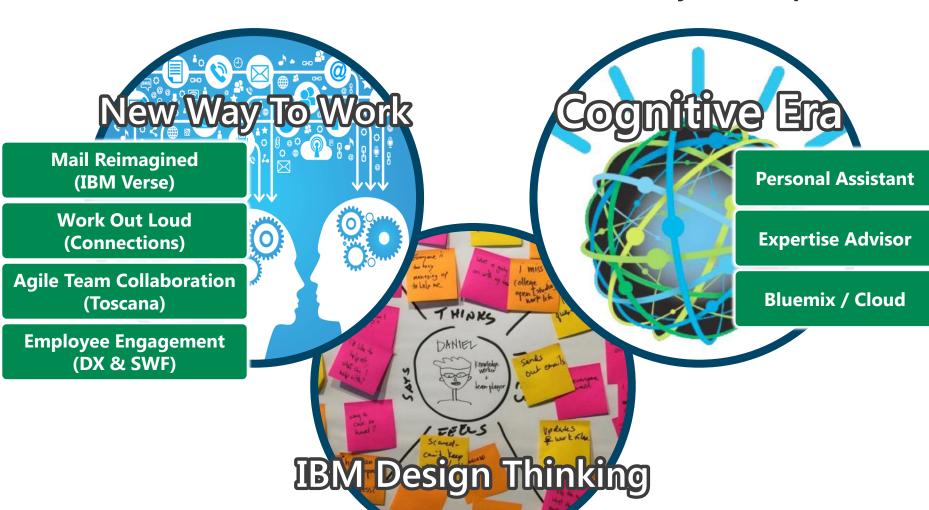
XPages on Blumix 上で IBM Connections Cloud や Domino のワークフロー、画像認識を組み合わせたアプリケーションの例

Connections Cloud Files





## IBM Connect 2016 を理解するための3つの Key Concept



Connect 2016

本資料には計画・開発中の製品・プレスに関する記載や画面を含んでおり、予告なく変更される可能性がございます



# **IBM Design Thinking**







## **IBM Design Thinking**

## Please take 1 min and Draw a Vase



Please take 1 min and "design" a better way for people to **Enjoy** flowers in their home!

# **IBM Design Thinking**

The IBM Design Language is a living set of guidelines for how we design software.



**Users first** 



**Contextually aware** 



**Aesthetically pleasing** 



Fun to use



**Clear and in-context** 



**Obvious** 



**Everywhere** 

# Cognitive

# **Analytics**

= Rule Engine

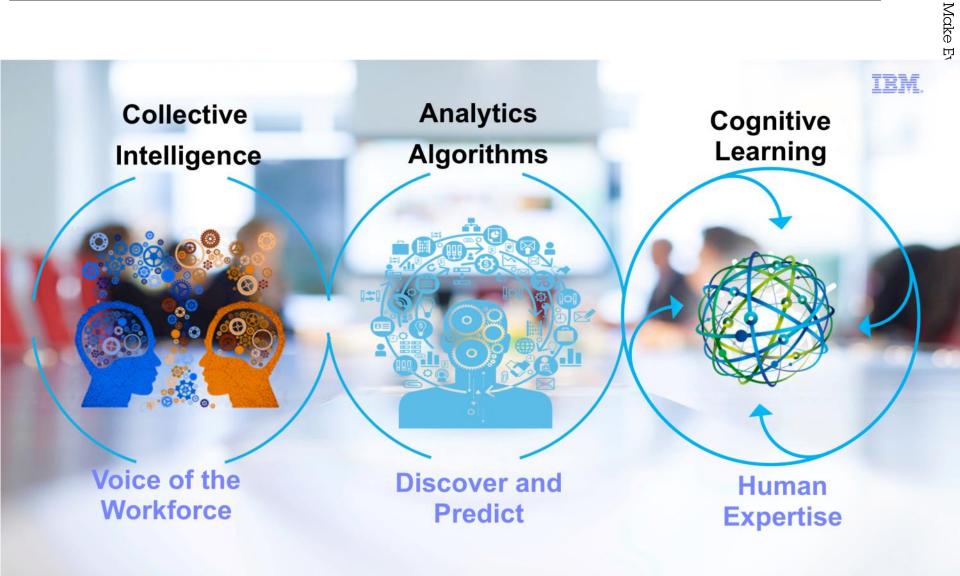


## Cognitive

= Learns





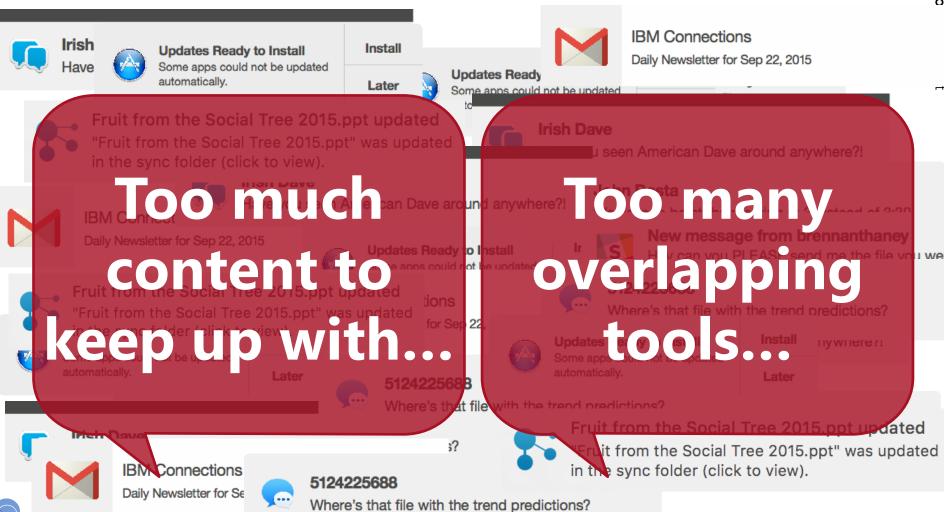


おり、予告なく変更される可能性がございます

© 2016 IBM Corporation

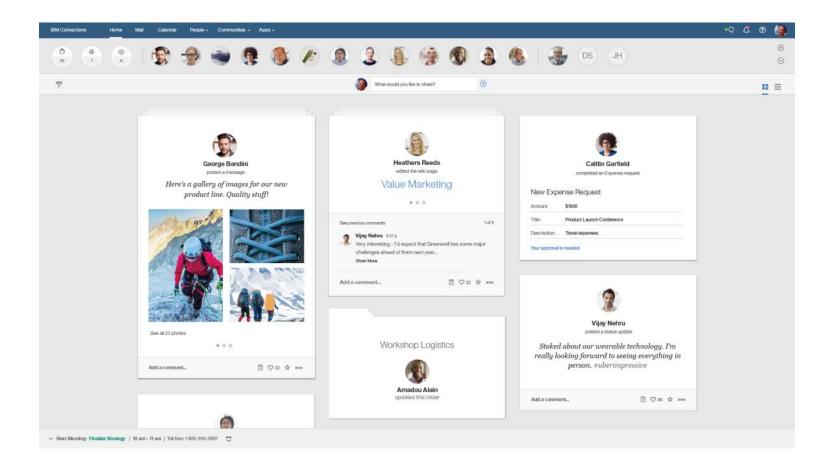
## Old (Current?) Way To Work

The Premier Social Business and Digital Experience Conference

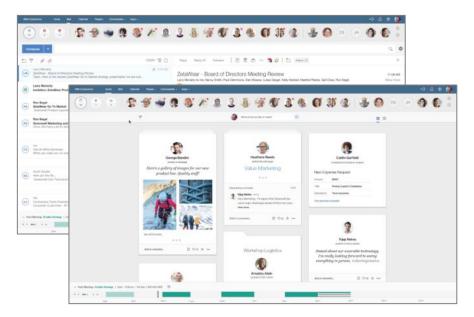




## Orient Me – New Collaboration Home Page

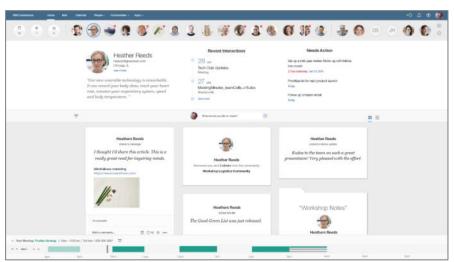


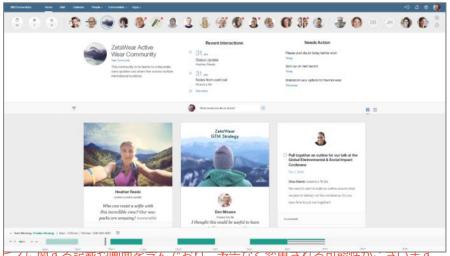




### Important to me (重要なコンタクト先) メニュー & New Collaboration Home Page

- メール(Verse)と ソーシャル・コラボレーション (Connections)で共通の機能
- ■「人」に加えて「コミュニティー」も登録でき、 相手/コミュニティー毎の情報を card base activity stream で一覧できる



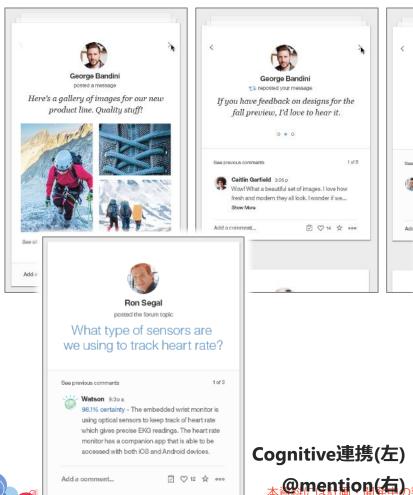


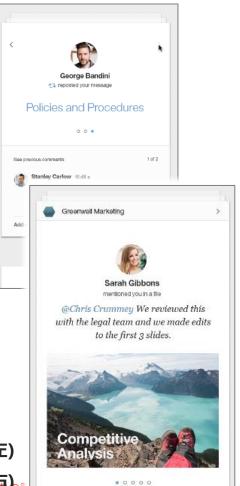
Connect 2016

本資料には計画・開発中の製品・サービスに関する記載や画面を含んでおり、予告なく変更される可能性かごさいます

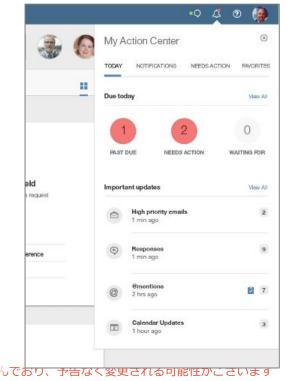


#### Card の切り替えによる参照





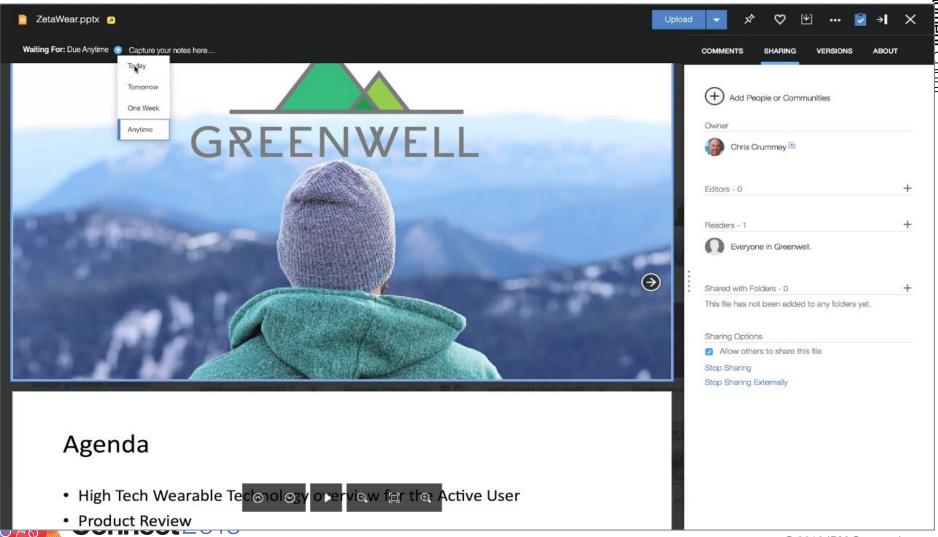
#### **Action Center**



© 2016 IBM Corporation



## **Files**





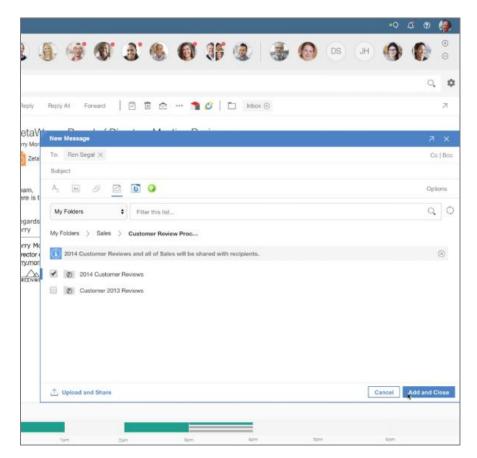
# Verse から 1クリックでのプレビューファイルをプレビューした状態での Need Action の設定

→ 前ページ画面

#### ファイルの Sync

#### 階層フォルダー

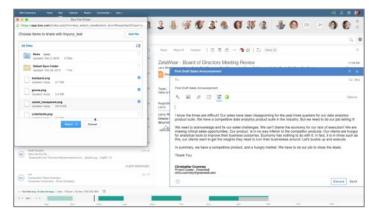
→ 右画面(Verse メールへの添付の画面の例)



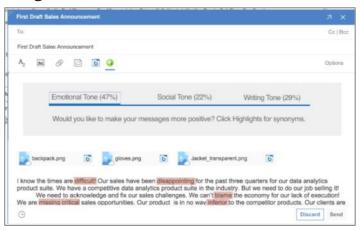


## Verse 拡張

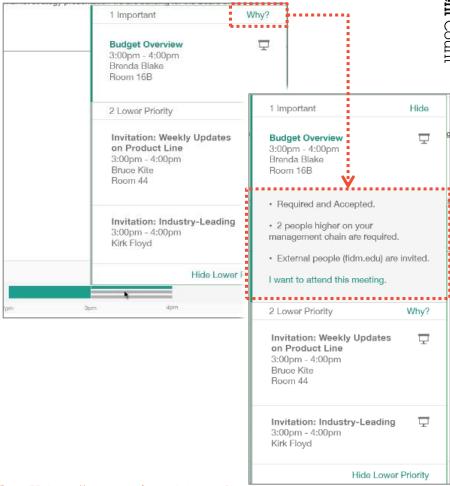
#### BOX 連携



### Cognitive による文調分析



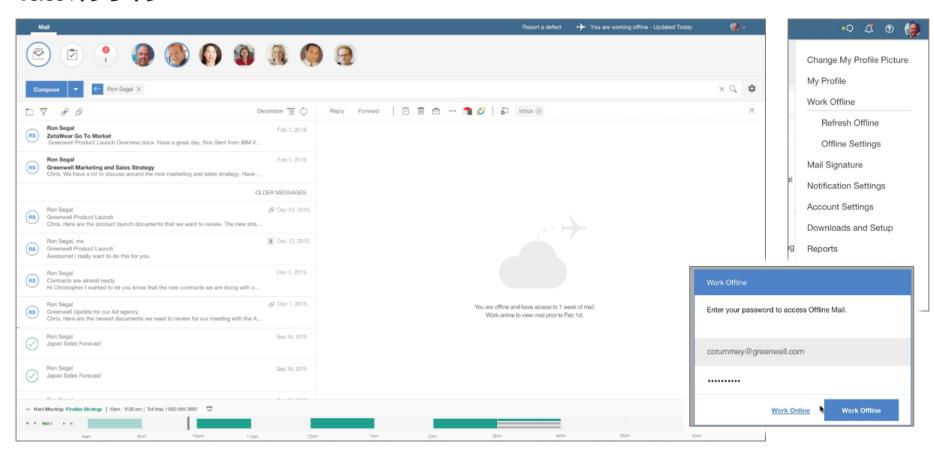
#### Cognitive による重複スケジュールの優先度提案



Connect 2016



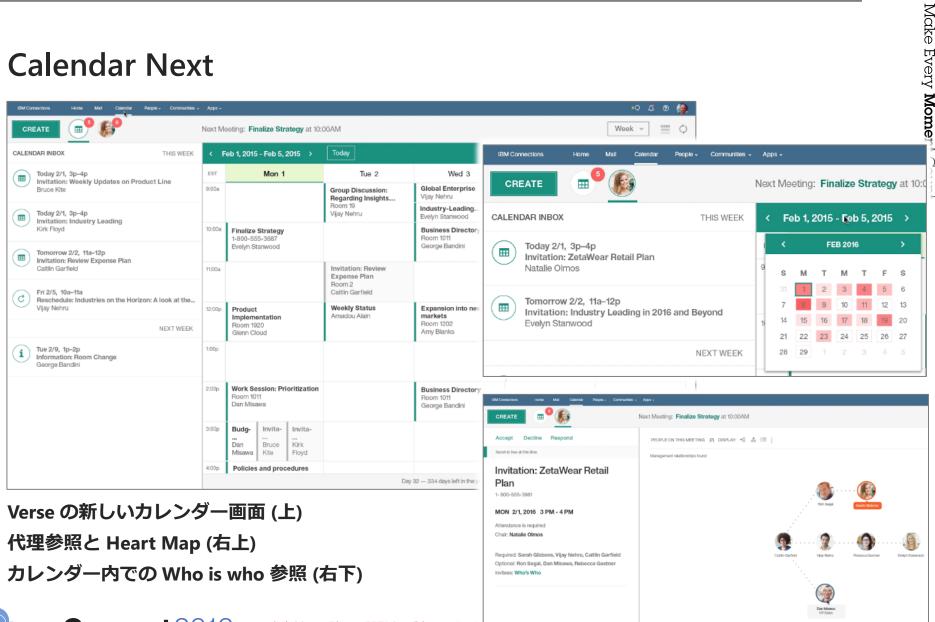
#### Verse オフライン







## **Calendar Next**

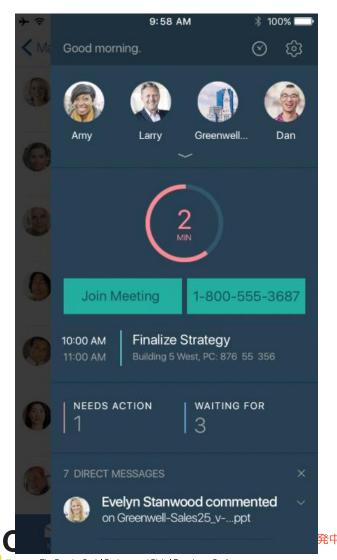


Connect 2016

本資料には計画・開発中の製品・サービスに戻する記載で四面で古かてのり、アロは、変更でもの可能にからです



## **New Mobile Action Center**

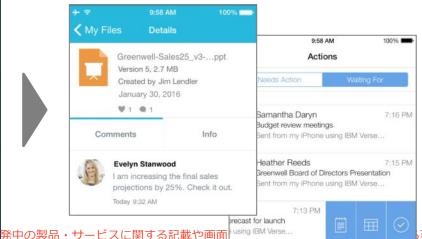






## スワイプでアクセスできる新しい モバイル・アクション・センター(左)

- → 重要な相手にワンクリックでのコ ミュニケーション(右・上)
- → ミーティングへの参加(右・中)
- → カレンダー、「要対応」「対応 待」メール、自分宛のメッセージ へのアクセス(右・下)



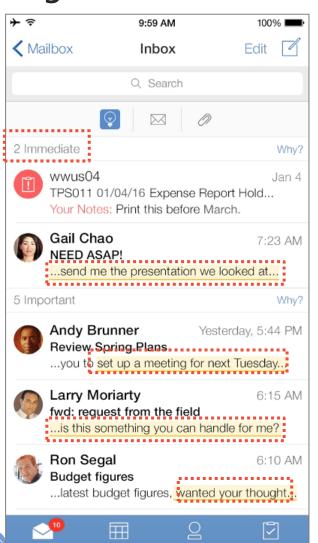
可能性がございます

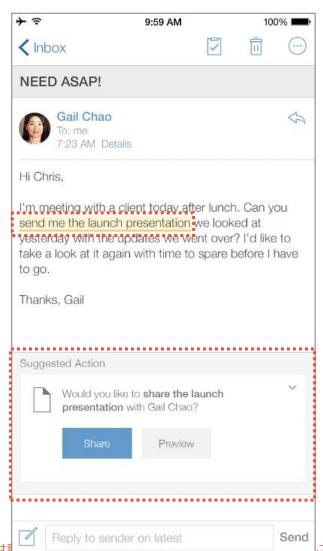
© 2016 IBM Corporation

The Premier Social Business and Digital Experience Conference



# Cognitive によるメールの優先順位付けとアクションの提案



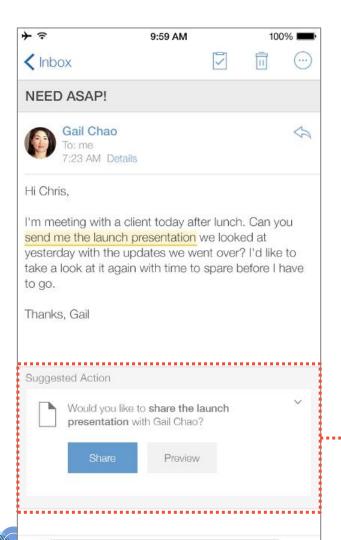


### Cognitive によるメールの優 先順位付け(左)

- → 優先した対応が必要と判断 されたメールの提示
  - ✓ Immediate に分類された メール
  - ✓ 内容の認識

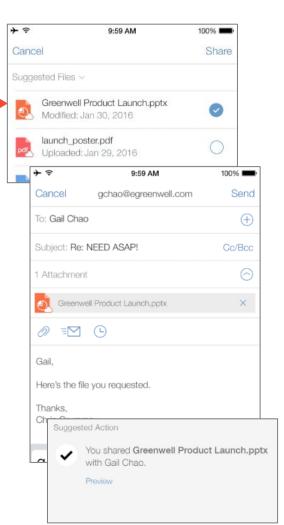
# メールの内容に対するアクションの提案(右)

→ メールの内容に対するアク ションを提案



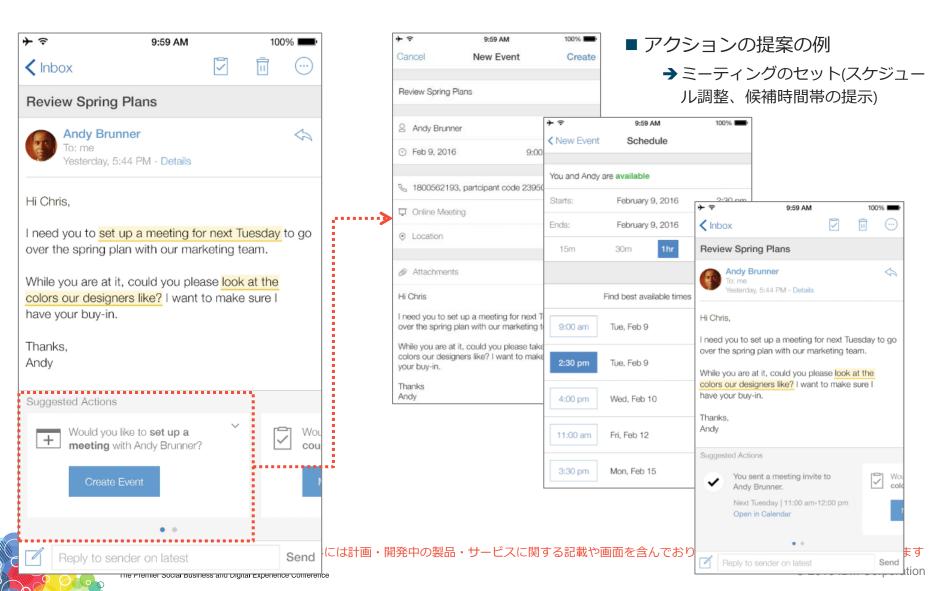
Send

те г теппет оосіаї разінезь апа рідікаї ехрепенсе оопіетені06

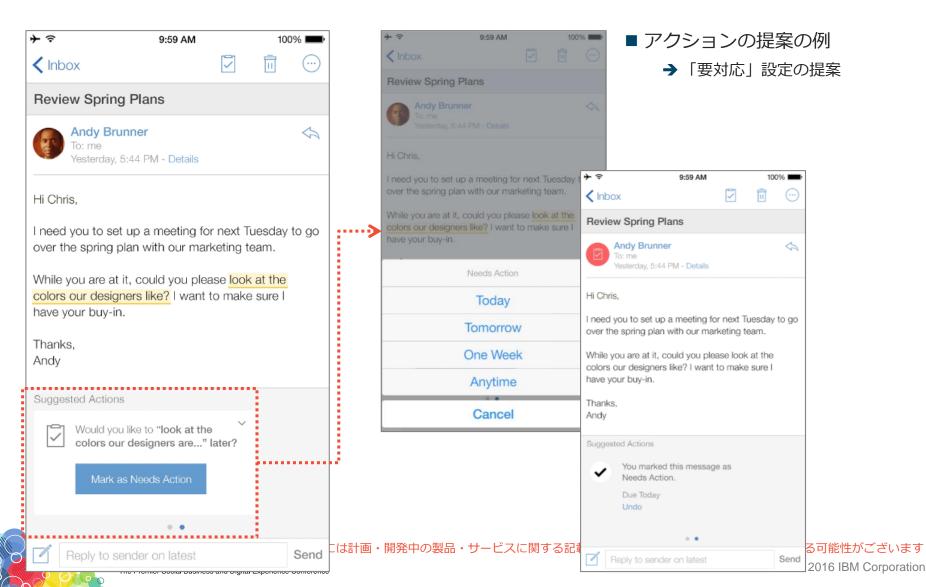


- → シンプルな操作による提案に 基づいたアクション
- → 提案されたアクションの評価 による学習
- アクションの提案の例
  - →ファイルの送信(共有)









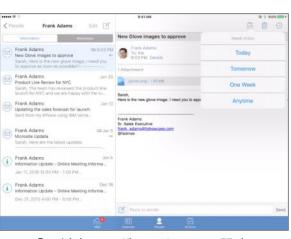


## **Mobile Only**

#### モバイルデバイス上でのタップ操作で可能なアクションの例



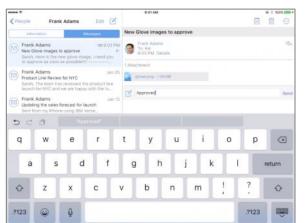




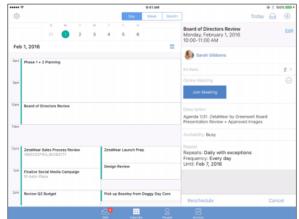
■ ドラッグ&ドロップでの並べ替え



■ アプリケーション間連携



■ 「要対応」などのアクション設定



**Connect**2016

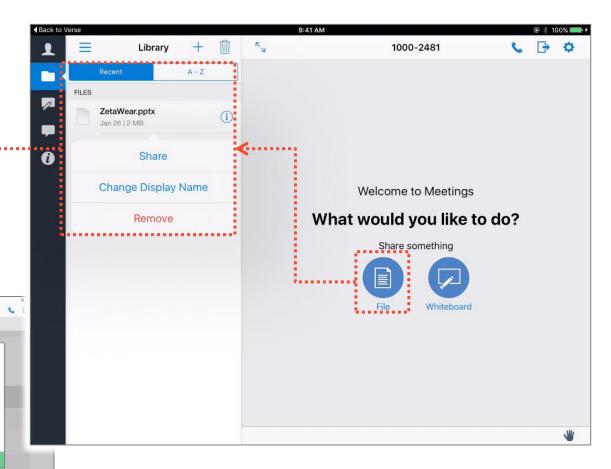
本資料に最計画と解発でが形式返信-ビスに関する記載や画面を含んで定文書はなり変すされる可能性の開始、ます



## Meetings

Finar

■ ミーティングでのファイルや ホワイトボードの共有

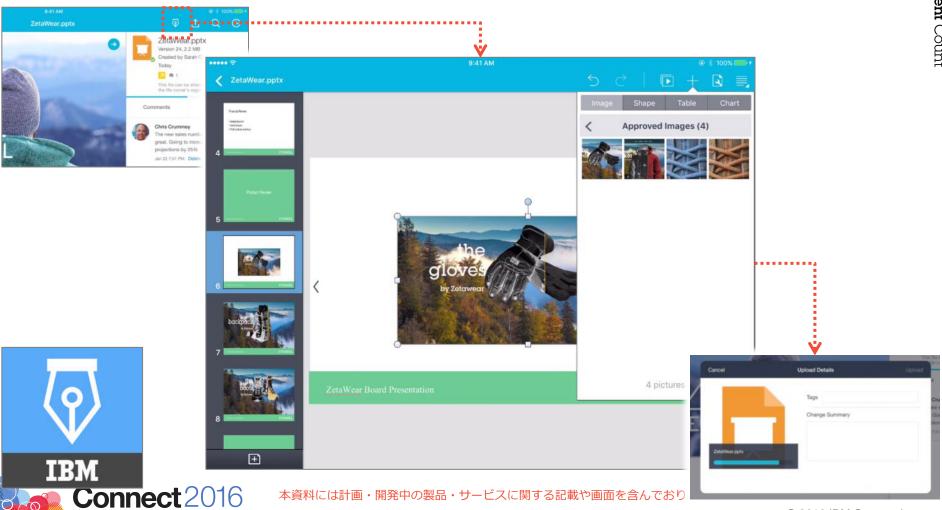




1000-2481 Sarah Gibbons is sharing page 3 of 11.

## **IBM Editor**

ライセンスやセキュリティ設定に制約されずにドキュメントの作成、編集が可能なアプリケーション

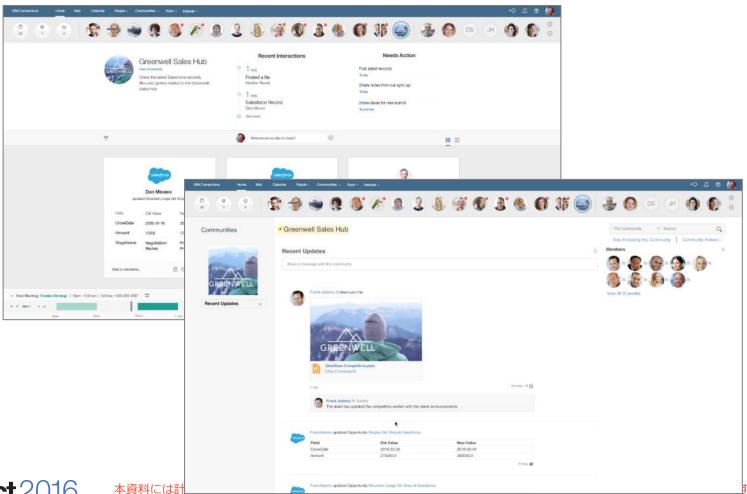




# 外部アプリケーション(サービス)と連携したコミュニティー

#### 外部のサービスと連携した IBM Connections のコミュニティーの例

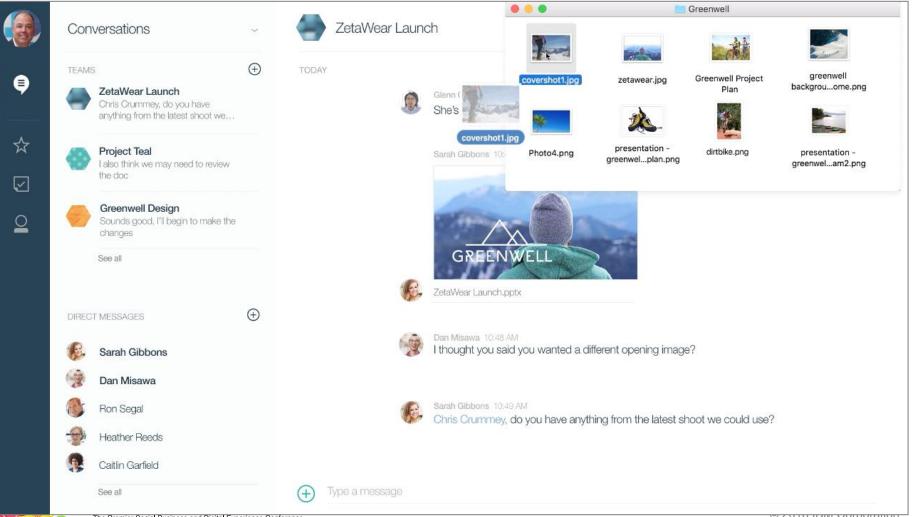






## Toscana – 概要と Web 版の画面

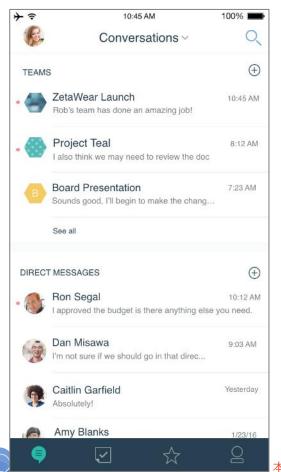
## 少人数グループでのリアルタイム & 継続的なコラボレーションと協同作業(コンテンツ作成)のための新機能

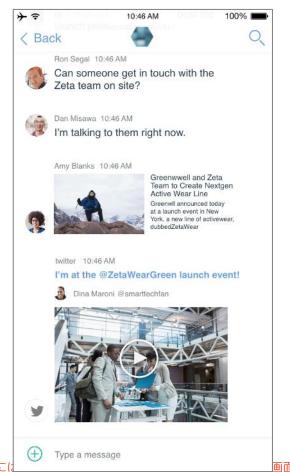


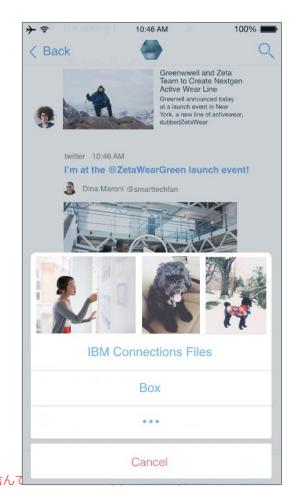


## Toscana – iPhone アプリの画面と機能

リアルタイムに更新されるグループ、連絡先の一覧(左) グループでのコラボレーションの画面(中) とファイルの添付(右)









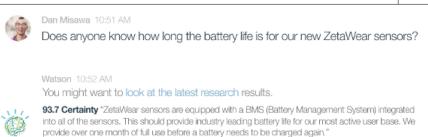
## Toscana – その他の機能

#### @mention と 通知

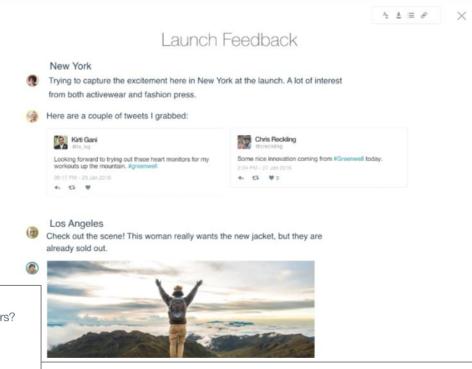




### Cognitive による支援



#### 文書の同時協同編集





## その他 主な発表や各機能に関する計画スケジュールなど

#### Verse オン・プレミス

- → Domino "Next" Upgrade で オン・プレミス版 Verse を計画
  - □ 2016年下半期
  - □ 価格、製品体系等の詳細は未定

※Connect 2016 において発表された英語環境を前 提とした記載。日本語での提供等の詳細は現時 点では確定しておりません。

#### Verse (Cloud) オフライン機能

- → 2016年第1四半期で計画
  - ✓ Connect 2016 終了後補足: 3月中旬見込

#### IBM Verse (Cloud)の Personal Assistant 機能

The Premier Social Business and Digital Experience Conference

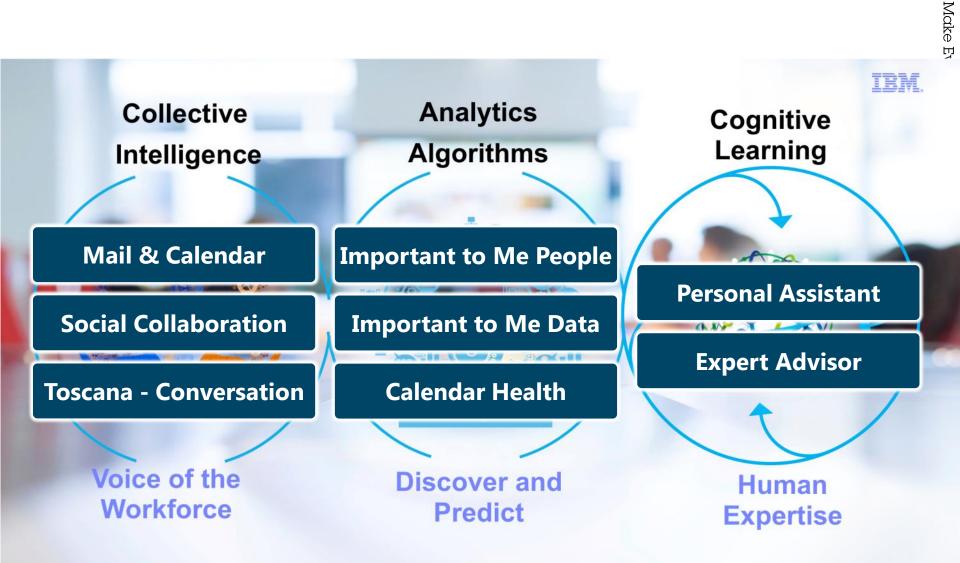
→ 2016年第3四半期

#### **Toscana**

→ 2016年第下半期

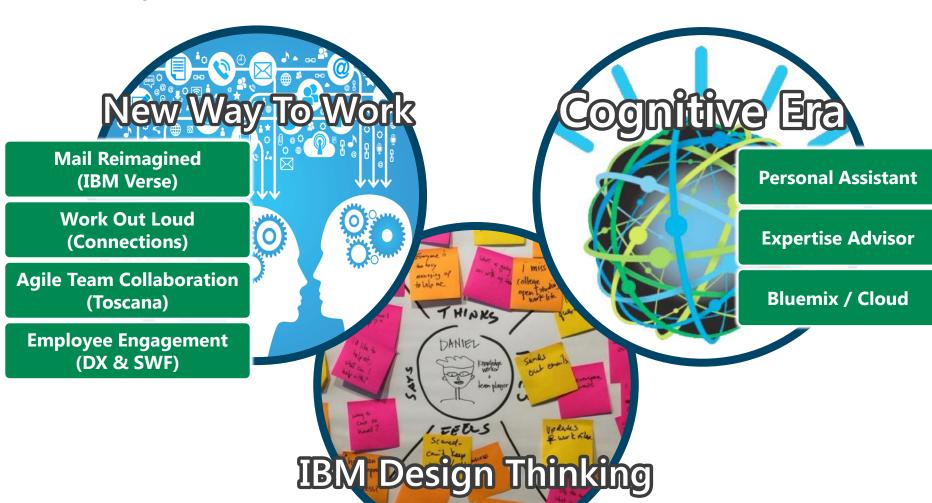








# Connect 2016 基調講演 = New Way To Work を実現する IBM のビジョン



Connect 2016

本資料には計画・開発中の製品・シーム人に関する記載や画面を含んでおり、予告なく変更される可能性がございます

Connect 2016 最新情報 フィードバック

# Notes/Domino 関連





# IBM Notes/Domino 最新情報 from IBM Connect 2016

※IBM Connect 2016で発表、紹介された内容を お伝えしますが、将来的に変更が入る可能性があります



### Notes/Dominoの成長の歩み

### MobileFirst \*\* IBM Notes and Domino 9 Social Edition SOFTLAYER Mastering Notes V3 - 1993 Platform AppDev IBM acquires Lotus - 1995

**IBM Verse** 

- Cognitive.NEXT
- Cloud
- Analytics
- Mobile
- Social
- Platform
- AppDev



IBM Verse - 2015

Notes/Domino メッセージング環境: Traveler, Embedded Experiences, SoftLayer, Verse, Watson Notes/Domino開発·実行環境: XPages/Java, OpenNTF, OSGi, RES, Social SD, Responsive, Bluemix

an IBM Company

Cloud

Mobile

Social

Platform

AppDev

Analytics

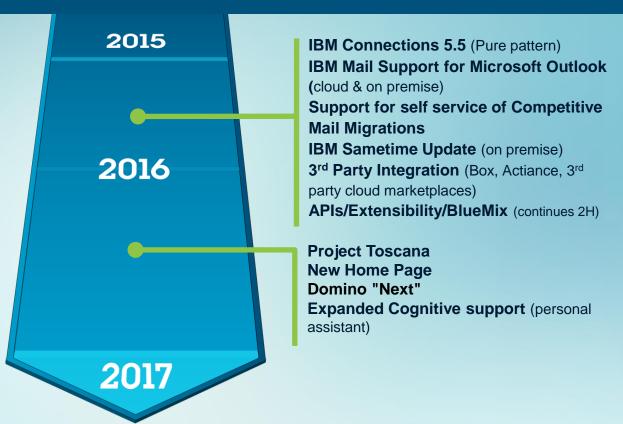
### IBM Enterprise Social Solutions Roadmap\*

#### CONTINUOUS DELIVERY: Cloud & Mobile Updates

IBM Verse
IBM Connections Social
IBM Connections Meetings
IBM Connections Chat
IBM Docs
SmartCloud Notes
Mobile App Updates

New Data Centers: Canada &

Australia



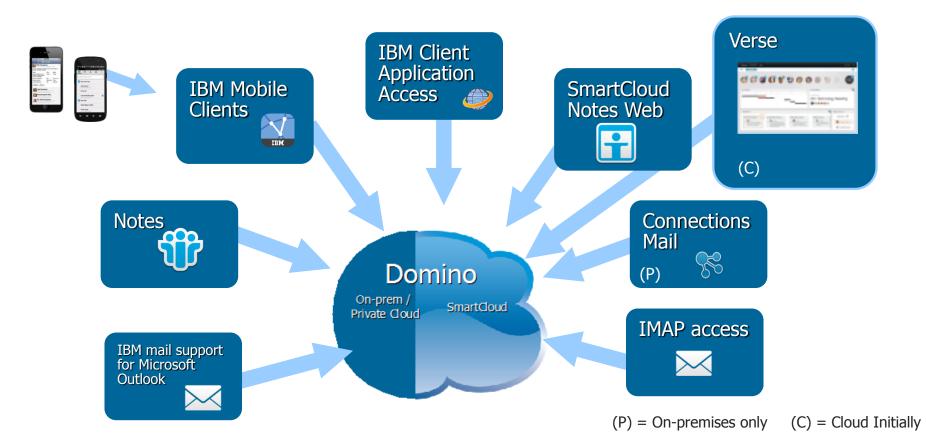
IBM's statements regarding its plans, directions, and intent are subject to change or withdrawal without notice at IBM's sole discretion. Information regarding potential future products is intended to outline our general product direction and it should not be relied on in making a purchasing decision. The information mentioned regarding potential future products is not a commitment, promise, or legal obligation to deliver any material, code or functionality. Information about potential future products may not be incorporated into any contract. The development, release, and timing of any future features or functionality described for our products remains at our sole discretion.



# クライアント環境



### Bring your own client 戦略





### **IBM Mail Support for Microsoft Outlook**

- Microsoft Outlook からDominoメールを利用する機能
  - IMSMO もしくはコードネーム Hawthorn と紹介されているも  $(\mathcal{O})$
  - 現在は Microsoft Outlook 2013 がターゲット
  - セッションの中では 2010 / 2016 について、要望の高いほう から対応するかもと言及(会場での統計結果はほぼ半々)
- Microsoft Outlook 環境に軽量のアドインを導入して利用
- 現在 9.0.1 ベースで限定的に提供されており、本番環境での実績 あり。
- 2016年内に、正式出荷予定。



#### Notes Next

- Winmail.dat とのカレンダー相互互換性の向上
- Notesアドレスではなく、インターネットアドレスを表示する
- 新規メールだけでなく、既存メールにもルールの適用が可能
- 代理ユーザーが連絡先を利用出来る
- MIME形式メールの転送時の動作改良
- Notesサイドバーから、CCMのファイル利用が可能
- 標準テンプレートのアップデート
- タッチスクリーン利用動作の改良
- 高解像度モニターへの対応
- Windows 10 の対応 (Notes 9.0.1 FP4 にて対応済)



#### iNotes Next

- Winmail.dat とのカレンダー相互互換性の向上
- 代理ユーザーが連絡先を利用出来る
- Notes/LotusScriptのボタンがメールに含まれていた場合、 Notes/ICAAで開く
- mailto: sendto: のサポート
- IE の標準モードのサポート(Quirksモードではなく)
- Microsoft Edgeブラウザのサポート
- Sametime, Connections, Docs の最新版への対応



### **IBM Client Application Access (ICAA)**

- Notes Browser Plugin(NBP) と呼ばれていたもの
  - ICAA 1.0.0.1 が出荷済(2015/10)
- クラウド限定でAUT(Auto Update Tool)機能が提供され、自動的 に最新のバージョンになる
  - モジュールの自動ダウンロード、インストール
- 今後の予定 (ICAA 1.0.1)
  - スタンドアロンになり、別ウィンドウで起動
    - プラグインではなく、ブラウザ依存から独立(例: Chromeでも利用可能 になる)
  - @コマンド/@関数の互換性向上



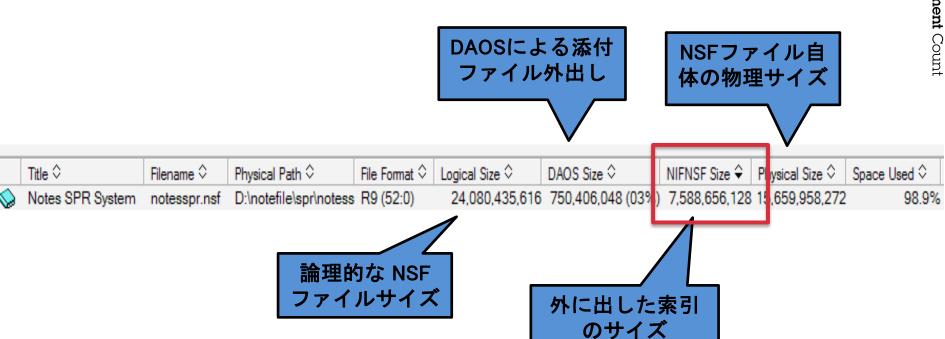
# Dominoサーバー



#### **Domino NEXT**

- TLS 1.2 を全プロトコルでサポート
- ・ビュー索引をデータベースファイル(NSF)の外に格納
- Live View Refresh機能
- IMAPタスクのパフォーマンス向上
- RFC 2231のサポート (MIME形式で受信するダブルバイトのファイル名により広く対応)
- Microsoftのファイルタイプ(例:winmail.dat)への対応
- 内部メールの社外転送メールルールを禁止するポリシーの提供
- 関連コンポーネントの最新化(JVM 8, Keyview など)

### ビュー索引のNSF外出し





### Live View Refresh

- "Dedicated View Thread"機能として 9.0.1 FP3 で出荷されている機能
  - 背景: 非常に大きいデータベースでは、ユーザーはビューの 更新が完了するまでビューが開けないことがあった
  - この機能を使うと、事前に指定された重要なビューで、索引更新が必要な状態であっても、ユーザーからビュー更新要求を出すのではなく、今ある索引のまま開けるようになる
  - バックグラウンドで専用のスレッドが用意され、指定の秒数で 自動更新が行われる
- ・ 将来的には「inline view updates」として、文書更新の一部として ビューが更新される機能が提供される

What is the "Dedicated View Thread" feature in IBM Domino <a href="http://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21960257">http://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21960257</a>

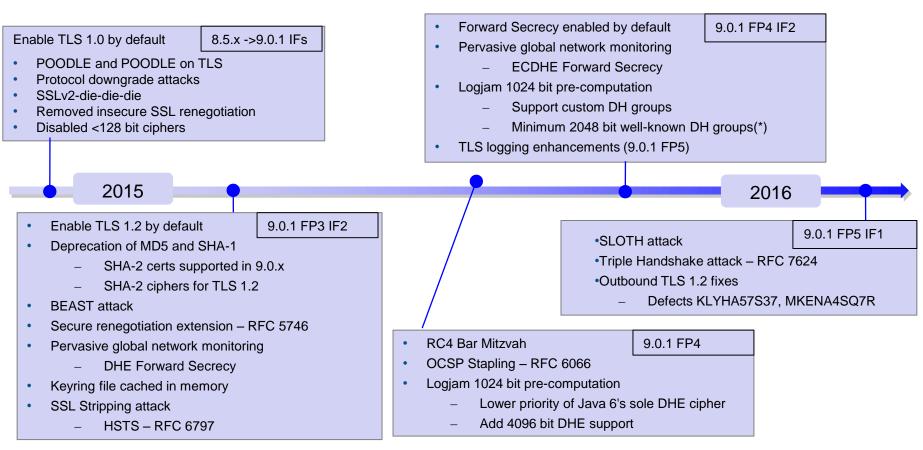




### データベース(NSF)の向上

- ビュー関連
  - NIF外出し(前述)
  - ビュー索引更新(前述)
- Summaryデータの制限の拡張
  - 現在個々の文書あたり64KBの制限
    - フィールド、ビューエントリあたり32KBの制限
  - 今後、個々の文書あたりの制限が 16MB になる
    - ただし、個々のフィールド、ビューエントリあたりの制限は同じ

### 世の中のセキュリティトピックとDominoの対応状況



Never vulnerable to CRIME, FREAK, or Heartbleed!



### Domino Next でのセキュリティ

- より広い SHA-2 アルゴリズムへの対応
  - NRPC での認証チケットでの利用
  - NRPC でのネットワーク・インテグリティへの確認
- データのAESアルゴリズムを使った暗号化
  - FIPS 140-2 認定の暗号ライブラリ
  - NRPCネットワークポートの暗号化
  - データベースの暗号化
  - DAOSの暗号化



### IBM Verse On-Premises – A Companion Service for IBM Domino "Next"

#### Timeline?

Targeting 2H2016

#### Effect on 9.0.x?

- First, Hawthorn GAs...
- All other content is pushed to "Next"

#### User experience?

- Consistent with cloud
- Includes: Offline, Box®, add'l UI refinements, calendar consistency, etc.

#### Configuration type available?

 All integrated products must be onpremises (e.g., Domino and Connections)

#### **Mobile support?**

Yes; iOS® and Android®

#### **Server platforms?**

Currently evaluating

#### Cost?

Still under discussion; stay tuned...

IBM's intent is to entitle to customers who've purchased "Next"

#### Part of Notes/Domino or separate?

Similar to "Hawthorn" and "Traveler" Runs as a "companion" on top of "Next"

#### Access to apps?

Does not change Select from Notes or ICAA to run apps content is pushed to "Next

IBM's statements regarding its plans, directions and intent are subject to change or withdrawal without notice at IBM's sole discretion.









### アプリケーション・アーキテクチャの進化

## **XPages**

- UIとデータの分離
- ・ 設計とデータは、同じ NSFでも別のNSFで もよかった。

## XPages/Bluemix

- UIとデータの分離
- ・ 設計とデータは別の NSF へ

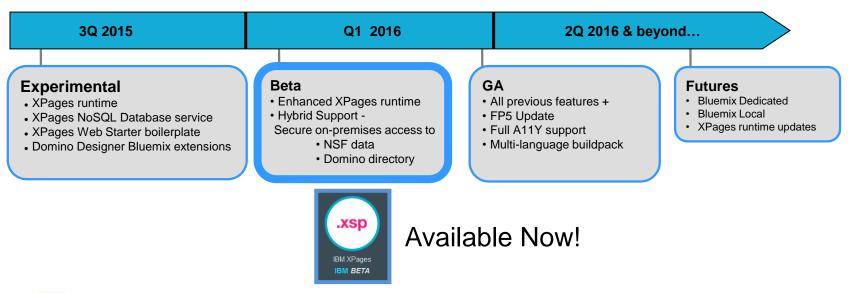
### Form/View

- UIとデータには密接な 関係があった
- ・ 設計とデータは同じ NSFに存在





### IBM XPages: The Road to Bluemix





Develop, deploy and scale IBM XPages applications with ease. The IBM XPages runtime provides you with a cloud-ready XPages web container designed for running XPages applications in Bluemix.



### **XPages for Bluemix**

- XPagesアプリケーションをBluemix (PaaS)上で実行可能
  - ソーシャル、データベース、IoT、Watson との連携
  - 最新のランタイムを、クラウド運用で活用が可能
- Domino Designer プラグインの利用で容易なデプロイ
- ハイブリッド機能を使うことで、データソースNSFにオンプレミス上、 laaS上のDominoを指定することが可能



### アプリケーション開発トピック Next

- Bootstrap での Responsive な XPagesアプリケーション開発
- XPagesからRDBへの親和性の強化
- XPages上での暗号化、電子署名のサポート
  - IDボールトやユーザーIDを扱うクラスが登場
- Domino Designer で、新しい XPages用のプリファレンスが登場
  - エディタの開き方の選択など
- より多くの XPages機能のオープンソース化(ExtLib + コアの多く)
- Java 8 対応



### IBM Connect セッションで語られる Domino (例1)

- IBM Notes/Domino 関連セッション
  - #UserBLAST 2016
  - 60+ in 60 Admin Tips Power Hour
  - Bring Your Own Client with IBM Mail Support for Microsoft Outlook
  - Carnival Sailing Safer Seas with Domino
  - How a Customer Preserved IBM Domino Integrity Using 'Hidden' Data Sources and Modern Usage Analysis
  - Logging Wars: A Cross-Product Tech Clash Between Experts
  - My Domino Applications are Moving to SoftLayer; Now What?
  - Shipping Domino: How to Put Domino in a Container and Live Happy + Book of Recipes
  - The SSL Problem and How to Deploy SHA2 Certificates
  - What's New in IBM Notes and IBM Domino



### IBM Connect セッションで語られる Domino (例2)

- Xpages/開発関連セッション
  - "Marty, You're Just Not Thinking Fourth Dimensionally": Troubleshooting Xpages
  - A Beard, An App, A Blender: One Developer's Take on Building Apps with Domino/Xpages
  - Break Out of the Box Integrate Existing Domino Data with Modern Websites
  - Building Responsive Applications Using Xpages
  - Get Hands-On with XPages Apps for Bluemix
  - IBM Domino App.Next Broadening Your Horizons with Bluemix
  - Outside The Box: Integrating with Non-Domino Apps Using XPages and Java
  - Relational XPages!! Using XPages as the Presentation Layer for RDBMS Data
  - REST Services in Domino Key to Modern Web Applications
  - What the App? : A Modernization Strategy for Your Business Applications